

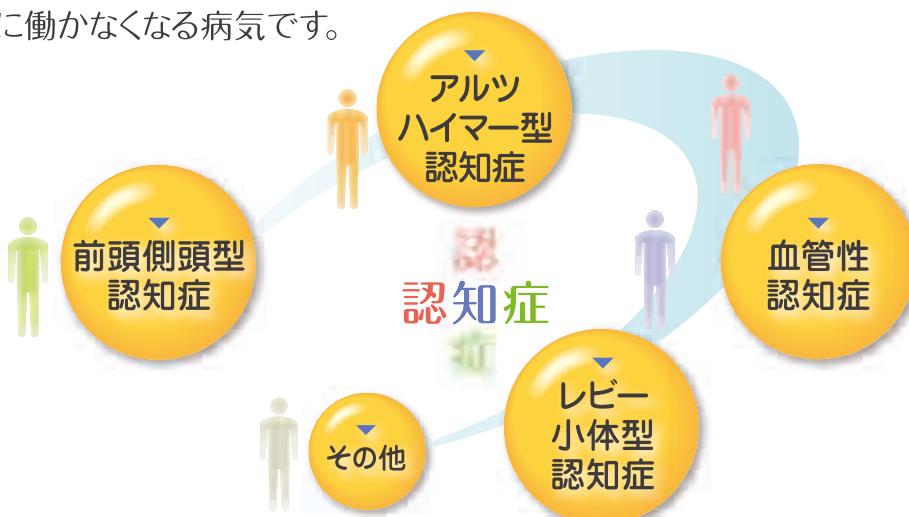
にんちしょう

認知症とアルツハイマー型認知症は、同じなの?



認知症というのは、一つの病名ではありません。

前のページで4つの基準にあてはまるとき認知症と言いましたが、そのような症状を表す状態が認知症なのです。熱という症状があるときに、その原因が単なる風邪の場合もあれば、インフルエンザや肺炎の場合もあります。このように発熱という症状の原因がそれぞれ異なるように、認知症もさまざまな原因によっておこります。認知症は脳の神経細胞が少しずつ減って、正常に働かなくなる病気です。



認知症の原因となる病気の中で、日本で多いのは、
アルツハイマー型認知症と血管性認知症です。

認知症がおこってくる代表的な理由には2つあります。ひとつは、脳に異常なタンパクがたまることによって、脳の神経細胞が徐々に減り、正常に働かなくなります。代表的な病気はアルツハイマー型認知症、レビー小体型認知症、前頭側頭型認知症です。

もうひとつは、脳血管障害（脳梗塞や脳出血など）によって脳の神経細胞が、壊されることによっておこります。代表的な病気は血管性認知症です。

このふたつ以外にも、「その他」に分類される慢性硬膜下血腫や正常圧水頭症などは、原因となっている病気を治療すれば、症状が改善することもあります。

専門の医師から
正確な診断を
受けることが
必要です。



にんちしょう

認知症になると、何ができなくなるの？



●新しい記憶(最近の出来事)が残りにくくなります。

なぜ？

こんなことが起きるのでしょうか？
記憶に関する働きは、
認知症の大きな特徴の一つです。
大事なことなので、記憶のシステム
という点からみてみましょう！

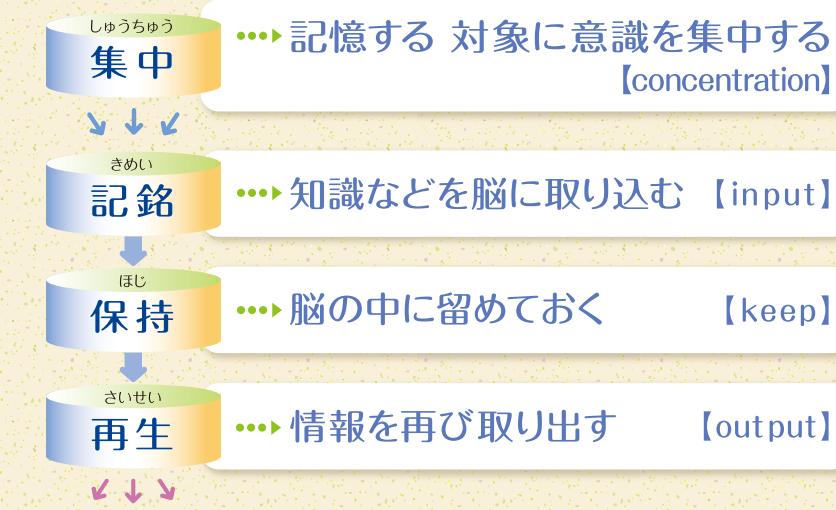


認
知
症
の
症
状
・
治
療
・
予
防
は
?



認知症になると、何ができなくなるの？

人の記憶のシステムとは…



ひとくちに“記憶”と言っても、実はいくつかの段階があります。
認知症になると、その段階のどこかがうまく働くくなり、記憶に関するトラブルが生じてしまうのです。

にんちしょう

認知症になると、何が苦手になるの？



● 時間や場所について混乱しやすくなります。

「いつ」や「どこ」が
きちんとわからなくなることを
けんとうしきじょうがい
「見当識障害」といいます。



認知症になると、「今日は何日？」と何度も聞いてくることがあります。

みなさんも、ふと**気がついたら見知らぬ場所**にいたとしたら、一体今はいつで、いつから自分はここにいて、今自分がどこにいるのかと不安になりますか？

日時や場所を何度も聞いてこられたら、聞かれるほうは大変です。でも、その背後には、そんな不安な気持ちがあるのです。

● 計画的にだんどりよく ものごとをすすめることが苦手になります。

例えば、それまでふつうに
できていた料理が
うまく作れなくなったりします。

料理がうまくできなくなるのは、判断力などが低下して、いくつかのことを**同時に**行うことが**難しく**なり、段取りがうまくできないからです。しかし、野菜を切ったりなどは、今までどおり上手にできます。ですから、料理の中でできる部分は、やってもらうことは大切なことです。



毎日、どんどん忘れてしまうの？



毎日というわけではありませんが、認知症が進んでくると、記憶のシステムの働きが少しづつ低下していきます。



何もわからなく
なってしまう
のかなあ…



そうではありません。確かに記憶のシステムの各段階の働きが低下します。しかし、今まで覚えていたことを全部忘れててしまうわけではありません。みなさんも、「ここまで出かかっているんだけど…」と思い出せないことが、後で思い出したり、何かがヒントになって思い出せることありますか？
ですから、少し待っていてあげて下さい。「あのときは、こうだったね。ああだったね」と話しかけてあげれば、思い出せるることはたくさんありますし、言葉に出せなくてもしみじみと心で感じているときもあるのです。

認
知
症
の

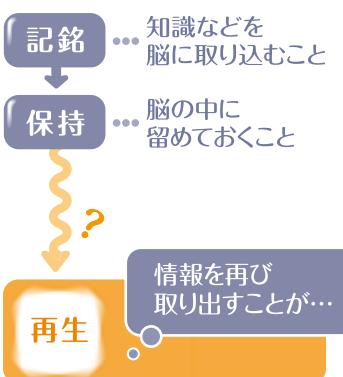


症
状
・
治
療
・
予
防
は
？

毎日、どんどん忘れてしまうの？



あなたのおじいちゃんやおばあちゃんが認知症になって、病気がだんだん悪くならても、あなたをかわいがってくれた懐かしく大切な記憶は、心の中には残っています。忘れてしまっているように見えたとしたら、それは「再生」がうまくいくっていないだけで、記憶がなくなったのでも、何もかもわからなくなるわけでもないのです。



にんちしょう

認知症の進み方は？



なかなか難しい問題です。なぜなら、認知症がどのように進んでいくかは、人によってさまざまだからです。

その理由は…

- ！ 認知症の原因となる病気はたくさんあります。原因が違えば、治療法やケアも異なり、進み方も異なってくるのです。
- ！ その人自身をとりまく環境（周囲の人との関係がどうか、必要な治療やケアを十分に受けることができるか…など）の違いもあるので、人によって進み方は異なってくるのです。

認
知
症
の
進
み
方
は
？



症
状
・
治
療
・
予
防
は
？

認
知
症
の
進
み
方
は
？



寿命は、どうなるの？

認知症の人は、そうでない人に比べて寿命が短くなるといわれています。認知症の原因やケアによっても違ってきますが、最近は、きちんとした治療やケアを受けていれば、以前より長生きする人が増えてきました。



認知症が原因で、亡くなるの？

認知症は脳の神経細胞が十分に働かなくなるためにおこります。認知症が進んでいくと、脳から身体への指令がうまく届かなくなります。ですから、身体を正常に保つ力がだんだん衰えるので、抵抗力もおちていきます。例えば、風邪などが原因で、そこから肺炎になり、そのことが原因で亡くなることもあります。

治療法はあるの？



認知症を治す薬
というのは、実は
まだないのです…



薬以外に
何か
ないのかな？

アルツハイマー型認知症では、進行を緩やかにする治療薬が用いられます。現在日本で使われているのは「塩酸ドネペジル（アリセプト®）」などがあります。レビー小体型認知症にもこの薬が有効です。

血管性認知症の場合は、脳血管障害の再発予防のための薬が用いられます。

薬以外治療法としては、「非薬物療法」といって、脳を活性化させたり、感情に働きかけるものがあります。

音楽療法

懐かしい曲を歌えば、
その頃のことを思い出します。
脳が活性化され、
いろんな感情がわいてきます。



回想法

昔のことを思い出して
話をすることで、脳が刺激されたり、
いきいきとした感情を
体験することにつながります。



運動療法

運動することで、脳の血流が良くなります。体に負担にならないような有酸素運動が良いと言われています。



音読や計算

本人に負担のかからない無理のない
内容であることが大切です。



芸術療法

絵画、陶芸、貼り絵などは、うまく言葉が
話せなくとも作品を作ることによって、
自分のことを表現することの助けとなります。



人それぞれに好みは違います。無理に行ったり、
頑張りすぎるの
は、かえってよく
ありません。



認知症の人が、病気を抱えながらもその人らしく生活するには、
このような治療だけでなく、環境を整えたり、周囲の人の
介護がとても重要です。